ブラック・メタル・アワー

劇団だるい

[登場人物]
男１（黒髪）
男２（金髪）
※男１と男２は、二人メタルバンドを組んでいる。

［小道具］
・ギター、ベース、アンプ
・ブリーチ剤（金髪の兄ちゃんの絵が書いてあるものが望ましい）

（男１がノリノリでギターを弾き、メタルの曲調のイントロが始まる。男２はベースを引いているが、ノッていない。やがて、男は歌い出す）

男１　I can kill you!!
男２　ゲリンボー
男１　People is shit!!
男２　ゲリンボー
男１　No way!
男２　Go home...

（男１が、ノッていない男２をちらちら見る。やがて、男１が演奏をやめて）

男１　へいへいへい。ノッてないじゃないか
男２　ああ？　……ああ。
男１　どうしたんだよ。明日ライブだぜ。もっと、ばっと、ぐわっと、どかーんといってもらわないと。メタルなんだからよ。
男２　ああ
男１　頼むぜ、じゃあもう一回、I can kill you!!　からな。
……せーの　I can kill you!!

（男１は歌い出すが、男２は全く弾かない）

男２　……
男１　へいへい、どうしたんだよ。

男２　　あのさ
男１　　なんだよ
男２　　お前、髪黒くしたんだな。
男１　　おう、これな。やっぱメタルは黒髪っしょ！
男２　　この前、お前、メタルは金髪だっていって一緒に染めたじゃん
男１　　気が変わったんだよ！　メタルはブラック！　ブラック・メタル！
男２　　ふーん。まあいいや。

（男２は、興味がないといった風で、ベースをいじっている）

男１　　じゃあもう一回、I can kill you!!　からな。……せーの
男２　　あのさ、明日のライブ、おれ、でないわ
男１　　……へいへいへい、どういうことだよ、明日はめっちゃ大切なライブだよ？　あのマイティ・ウィングスに対バンで呼ばれたんだぜ？　あのマイティ・ウィングスだよ？　明日成功させれば、一気にメタルバンドとして名をあげられるんだよ？
男２　　わかってるよ。よくこれたよな、ここまで
男１　　じゃあ、なんでだよ
男２　　出たくないからだよ、お前と

（空気が固まる）

男１　　……へいへいへい、言ってくれるね。どういうことだよ。解説してくれよ
男２　　あのさ、よくあるやつ。音楽性の違い？
男１　　音楽性
男２　　そう
男１　　ああ……あれね。ん？　うん。（ひとしきり悩む）
男２　　わからんか
男１　　うーん、お？　あ、うん。（ひとしきり悩む）
男２　　わからんか
男１　　わかりやすく頼む
男２　　つまりな、はっきりいうとだな
男１　　はっきりいわないで。傷つくから
男２　　繊細だな！
男１　　わかりやすくいって、でもはっきりいわないで
男２　　難しいよ！
男１　　……婉曲していって（かわいげに）
男２　　むかつくな
男１　　たのむよ

（男２は、しばらく考え）

男２　　婉曲して言うと、お前の音楽が嫌いだからだよ
男１　　ああ！！　（ショックでうずくまる）……婉曲してないし
男２　　したよ、しないで言ってやろうか？
男１　　やめて！　傷つくから！　傷ついて、血尿出るから
男２　　繊細だな！
男１　　血尿って言うのはね、あの、おしっこの中に血がまざってしまうことでね、知ってる？
男２　　知ってるよ！
男１　　まるでおしっこがグレープジュースみたいに紫色に
男２　　いいよ！　なんで詳しいんだよ
男１　　劇団●●っていう団体にいたとき、ストレスでね
男２　　実在の団体名を出すな！　そういえばお前演劇やってたな
男１　　これがまたねー

（男１は、いろいろ語り出すが）

男２　　長くなりそうだからいいや。
男１　　いいのか
男２　　いい。ともかくな、おれは、お前の音楽についていけなくなったの。そういうこと。明日は一人でなんとかしてくれ。じゃあな
男１　　あああ、まって、まって。
男２　　じゃあな
男１　　まって、まって

（男２をひっぱり、引き止める男１。）

男２　　じゃあな
男１　　まって、まって。考え直してくれ

（男２は、激烈なチョップを男１の手首にして振りほどく）

男２　　もう決めたの。

（男２は、振り向かずに出て行く。）

男１　　え、あ。おい、おーい。

（男１は、呆然と見送るが）

男１　　……うわあああああ、血尿が！

男２　　（走って戻ってきて）大丈夫か！
男１　　（にやり）
男２　　帰る
男１　　まって、まって。頼む、教えてくれ。
男２　　何を
男１　　悪かったところ。直すから。やり直そう？　な？
男２　　悪かったところ？
男１　　そう。わかりやすく頼む。
男２　　婉曲して？
男１　　できれば
男２　　わかった。

（男２は、しばらく考え）

男２　　全部だよ
男１　　あああああ！！！！　……婉曲してないし
男２　　したよ、しないで言ってやろうか？
男１　　やめて！　痔が
男２　　お前、痔も患ってたのか
男１　　あのね、劇団●●っていう団体にいたころ、ストレスでね
男２　　痔はストレスとは関係ないと思うなあ！
男１　　わかんねーよ、ともかく、痔、なんだよ！
男２　　怒るなよ！
男１　　治らないんだよ！
男２　　知るか！
男１　　なんでなんだよ！
男２　　お前の痔なんか知るか！
男１　　ちげーよ、音楽性の違いの話だよ！
男２　　急に話をもどすな！
男１　　痔の話をいつまでも引っ張るなよ、シモネタだから面白いとか、思ってんのか。だせえな。音楽だよ、音楽の話をしようぜ。
男２　　おまえ、むかつくなあ。
男１　　たのむよ。やりなおそう。な、このとおり！

（男１は、深々と頭を下げる）

男２　　んー……

（男２は、しばらく考え）

男２　　じゃあな。
男１　　まって、まって。それはないだろ
男２　　だってもう決めたんだもん
男１　　もうちょっと、なんか、あるだろ。こう、なんというか、ええと
男２　　なんだよ

（男１、適切な言葉が思いつかない）

男１　　ええと、あれだよ、あれ、……あああ！　わかれよ！
男２　　お前、つくづくバカだな。
男１　　泣くぞ！
男２　　泣くなよ！

（男２、仕方ない、教えてやるかといった風で）

男２　　……わかったよ。じゃあさ、さっき練習してた曲。
男１　　ゲリンボーな
男２　　そう、ゲリンボー、な。ちょっとやってみ
男１　　よっしゃ。

（男１は、ノリノリで、先ほどの曲を演奏する）

男１　　Icankillyou!!
男２　　ゲリンボー
男１　　Peopleisshit!!
男２　　ゲリンボー……。もういいや。突っ込みどころが多すぎて困るんだが……。
　　あのな、I can kill you はいいや、People is shit もいいや。メタルだからな。こういう歌詞もありだろ。
男１　　だろ？　これは、社会に対する怒りをだな
男２　　ゲリンボーってなんだよ！
男１　　メタルの魂だよ！

（男１は、あふれる熱量を体で表現する）

男１　　どかーんと、ぐわーっと、あーわかれよ！
男２　　わかんねえよ！　だいたい何語だよ！
男１　　俺ワードだよ！
男２　　意味わかんねえよ！　まあいいや。その続きな
男１　　じゃあ、いくよ。

（男１は続きを演奏する。）

男１　Noway!
Gohome!
男２　どういう意味
男１　noway　俺達に道なんかない
男２　そう。そこまではいいんだ。その後は
男１　Go home
男２　帰るのかよ！
男１　メタルの魂だよ！
男２　どんだけ弱気なんだよ！
男１　わかれよ！　メタルの魂をよ！
男２　わかんねえよ！　つーかメタルなんて糞くらえだよ！
男１　なにを、お前、メタルを愚弄するのか！
男２　おれは、フォークが好きなんだよ！

（男１、きょとんとする。）

男１　は？
男２　初耳だっていう顔をするな！
男１　いや、だって、お前
男２　最初からいやだったんだよ。俺は、カヒミ・カリイとか（複数回いって）押尾コータローとか、そういうのが好きなの。メタルなんて大嫌いなの。最初にいったじゃん。お前がバンドやろうっていったとき。それをさ、お前がさ、フォークもメタルも一緒だっていってさ。メタルは金属、フォークも金属、同じようなもんだって強引にさ。
男１　同じじゃねえか。フォークつったらお前、金属の、ほら、ぐさっと
男２　フォークソングのフォークは、民族って意味だよ！

（男１、きょとんとする。）

男１　……知ってたよ？
男２　絶対知らなかっただろ
男１　……だってフォークは……ぶすってさして
男２　ささないの。おまえ、本当に音楽やってたの？
男１　だって、だって、メタルフォーク
男２　ああ、もういいや。とにかくな、そういうことなの。じゃあな。
男１　うわあああああん。まってよお。まってくれよお。俺だってわかってたんだよ！　フォークとメタルの違いくらい。あれだろ？　フォークって木のフォークのことなんな？　ウッドフォーク
男２　いやだから違う
男１　分かってたんだよお！　とにかく分かってたんだよお！　お前が別の音楽やりたいってことくらい

さあ！　でもさ、おれはメタルがやりたくてさ、お前はフォークがやりたくてさ。

（男１は、フォークを指す真似をまだやっている）

男２　だからそのフォーク違うって、ああ、もういいや
男１　でも、お前とどうしてもメタルがやりたかったんだよ！

（男１は、必死である）

男１　お前とじゃなきゃだめなんだよ！　お前がいないと俺、何もできないだろ！　これまでずっと一緒にやってきただろ！　小学校も、高校も。お前とじゃなきゃだめなんだよ！　お前とやりたいんだよお。
男２　お前……
男１　おれ、一生懸命曲作ってさ！　一緒にライブやって、やっとマイティ・ウィングスに対バン呼んでもらえるくらいになったのにさ！　これからだっていうのにさあ。
男２　……
男１　……あ、じゃあさ、いいよ。お前のやりたい音楽やろう。フォーク。ウッドフォーク。

（男１は、とてもいいアイデアだという風で）

男１　そうだよな、やっぱ二人でメタルって無理あるもんな！
男２　やっと気づいたか！！！！！
男１　うん、おれ、無理してたよ。お前と一緒に音楽できればいいや。フォークやろう、フォーク。今曲作るからさ。
男２　すげえ急だな
男１　えっと、そうだな。長崎の歌作ろう

（男１は、フォークっぽい曲調でギターを弾きながら

男１　♪　長崎のいいところ～
ほら

（男１は、男２に、なんか長崎のいいところを言えと促す）

男２　え？　あ、ええと、海岸線が長い、とか？
男１　♪　長崎のいいところ～
ほら
男２　えー、坂が多いとか
男１　♪　長崎のいいところ～
ほら

男２　　おれは、長崎県民じゃねえ！
　　つーかお前だって長野県民だろ！　確かにちょっとフォークっぽいけど
男１　　フォークで一緒にメジャー目指そうぜ。

（男１は、男２を見据え、「決まったぜ」とでもいう風）

男２　　おまえ……、わかったよ。
男１　　本当か？
男２　　ああ、二人でメジャー目指そうぜ、

（男２は、男１をしっかりと見据えている）

男２　　……とでも言うと思ったか！
男１　　なんだよう！
男２　　……お前さ、なんで髪黒くしたの？
男１　　え？
男２　　なんで髪黒くしたのか、ってきいてんだよ
男１　　それは……、ブラック・メタルだからだよ。おれら、ブラック・メタル・アワーだろ？　あ。「だった」ろ？　あ、そうだ、次のバンド名どうしような？

（男２、書類を取り出し、バサッと男１に投げる）

男２　　八十二銀行の採用案内きてたよ
男１　　あ、ありがとう。あ、ブラック・フォーク・アワーなんてどうかな。うん、かっこいいな、ブラック・フォーク、のあたりが。

（男１、途中で気づいて、青ざめる。たっぷりとした間。）

男２　　お前、就職活動してるだろ！
男１　　……あいたたた、痔が（といって席をはずそうとする）
男２　　まて
男１　　血尿が
男２　　まて
男１　　痔が
男２　　まて
男１　　……（ごまかすのをあきらめ）だって
男２　　だってじゃない。何？　将来不安になった？
男１　　……
男２　　おかしいと思ったんだよなー。突然黒髪に戻すしさー。なんでだろうって思ってたら、はいはい、就職活動ですか。そうですね。３月だもんね。ほらそれ。八十二銀行だって。

男１　　（ちゃららんと、間抜けなフレーズをひく）
男２　　明るくしようとしないでくれるかな！　長野の地方銀行なんて、お前、堅実だなー。なに？俺とメジャー目指すんじゃなかったの？俺と一緒にやりたいってのはどうなったの？
男１　　それは、その
男２　　あー、うそだったんだ、へー
男１　　違う

（男１は、手いじり的に、電車の発車の音楽を弾き始める）

男２　　違わないだろ！　……結局さ、本気じゃなかったんだろ。お前。あーあ、損しちゃったよ。一緒に髪染めてさ、バンドだ、練習だって。俺、けっこう本気だったんだぜ？

（男１は、まだ弾いている）

男２　　って、それ（演奏）やめてくんねえかな？　どんだけ出発しねえんだ。
……あーあ。まあいいや、まだ春の就職活動間に合うよな？　あ、そうだ。リクナビの登録方法おしえてくんない？　おれやったことないからさー。（自嘲気味に笑って）……はーあ。
男１　　悪かったよ
男２　　……バンド解散でいいか。
男１　　やだ
男２　　もうだめだよ。……お前だけ就職活動って。卑怯だよ。
男１　　……そうだよな。ずるいよな

（長い間。）

男１　　ずるい、じゃない。卑怯、だ。……卑怯だなんていわれたの、初めてだよ。
……きついな
男２　　だろうな。……じゃあな。俺帰るわ。

（男２は出て行く。男１は見ているだけ。）

男１　　……あー、血尿が！　……痔が！

（男１は、男２が出て行った方向を伺っている。）

男１　　おーい、おーい・・・

（男１は、やがて、どっかからブリーチ剤を取り出し、男２をおいかける。）

男１　　おい、まってくれよ！

おわり

■初演

・2007 年 3 月　劇団だるい 001「夢見がちハイツ」

・於　東京大学構内キャンパスプラザ

■上演等をご希望の方へ

劇団だるい WEB に記載の台本ご利用上の注意事項をご確認の上お問い合わせください。

URL　https://www.gekidandarui.com/contact/